

2023年11月期

第3四半期決算補足説明資料



2023年10月13日
MITホールディングス株式会社
証券コード 4016

第一部 2023年11月期 第3四半期決算概要

- 第3四半期決算ハイライト
- 四半期別の業績推移
- 損益計算書サマリー
- 営業利益の増減要因分析(前年同期比)
- 2023年11月期通期業績予想

第二部 Appendix

- トピックス
- 会社概要
- グループ会社概要
- 中期経営計画の基本戦略

2023年11月期 第3四半期決算概要

売上高

35億15百万円

前年同期比 3億32百万円(10.4%)増



売上総利益

7億82百万円


前年同期比 1億6百万円(15.8%)増



- 当第3四半期連結累計期間の業績は、システムインテグレーションサービス及び図面DXソリューションサービスの売上拡大が牽引し、売上高は35億15百万円(前年同期比10.4%増)となりました。
- また、足元の物価高騰を受けて、当年4月にベースアップを含む賃上げ(グループ平均賃上げ率+4.8%)を実施した一方、システムインテグレーションにおいて受注単価アップや高利益率案件等へのシフトに注力したこと及び、図面DXソリューションの売上拡大により、売上総利益は7億82百万円(同15.8%増)となりました。


営業利益

40百万円

前年同期比 16.9%減 


経常利益

48百万円

前年同期比 7.9%増 

四半期純利益

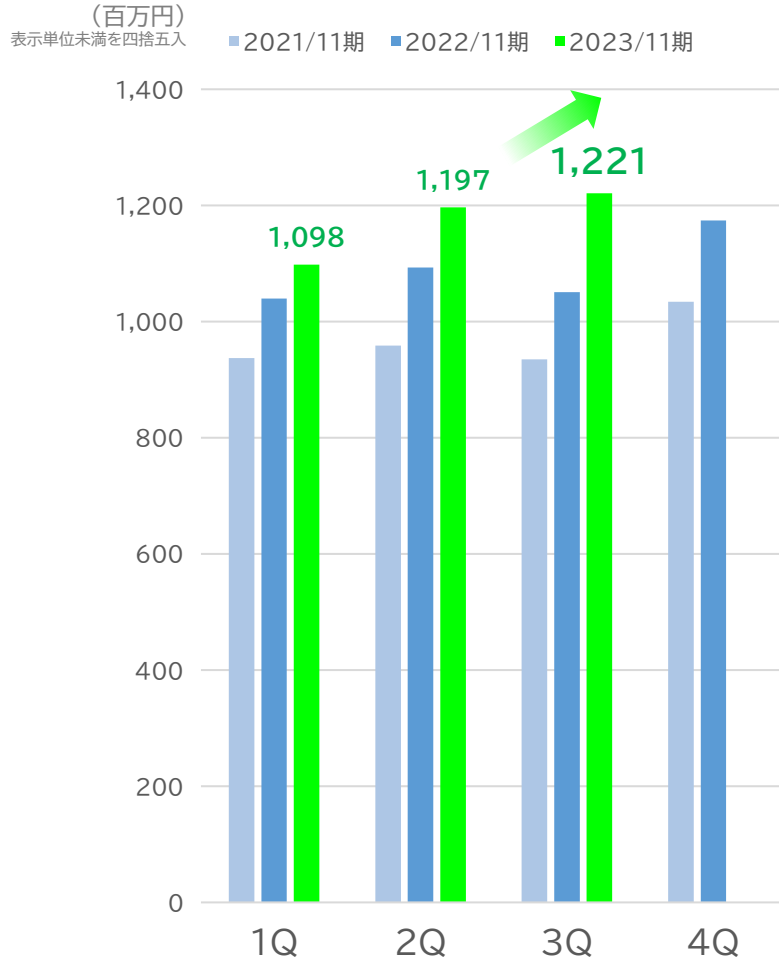
10百万円

前年同期比 53.8%減 

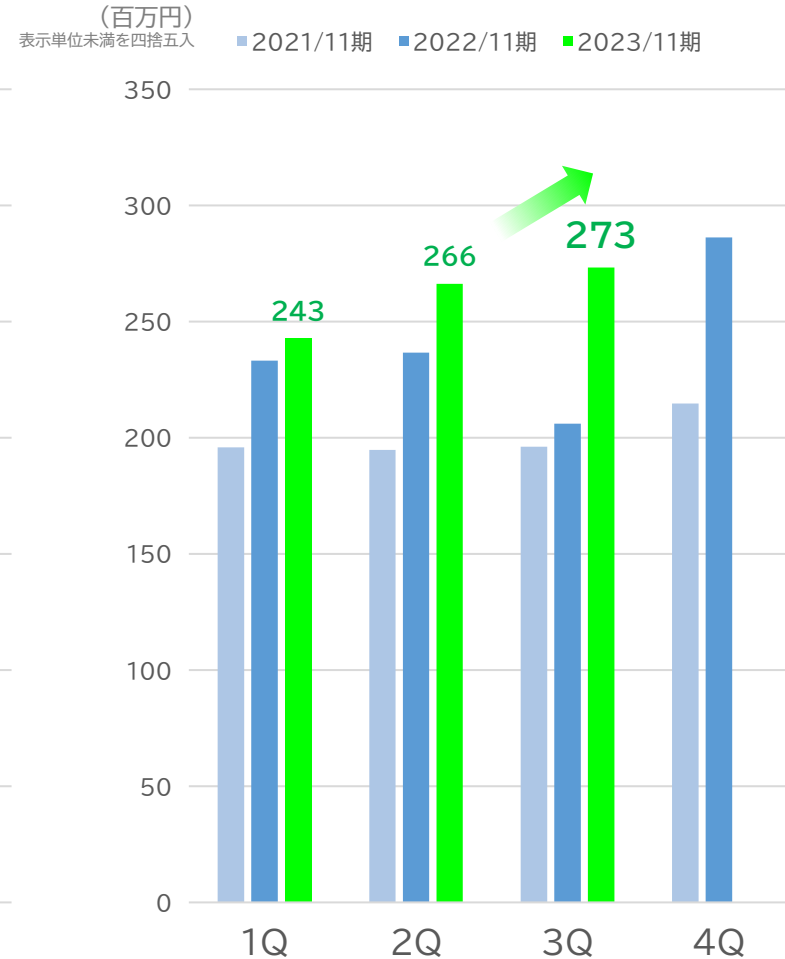
- 第1四半期に成約したM&A関連費用やのれん償却費の計上、営業・間接人員の増強による人件費の増加及び、広告宣伝等の販促費用の拡大等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は40百万円(同16.9%減)となりました。
- 子会社の保険解約返戻金等の営業外収益の増加により経常利益は48百万円(同7.9%増)となりました。
- 第1四半期に成約した子会社株式取得費用やのれん償却費の影響により法人税等が増加し、四半期純利益は10百万円(同53.8%減)となりました。

■ 売上高は、第3四半期会計期間の過去最高を更新。

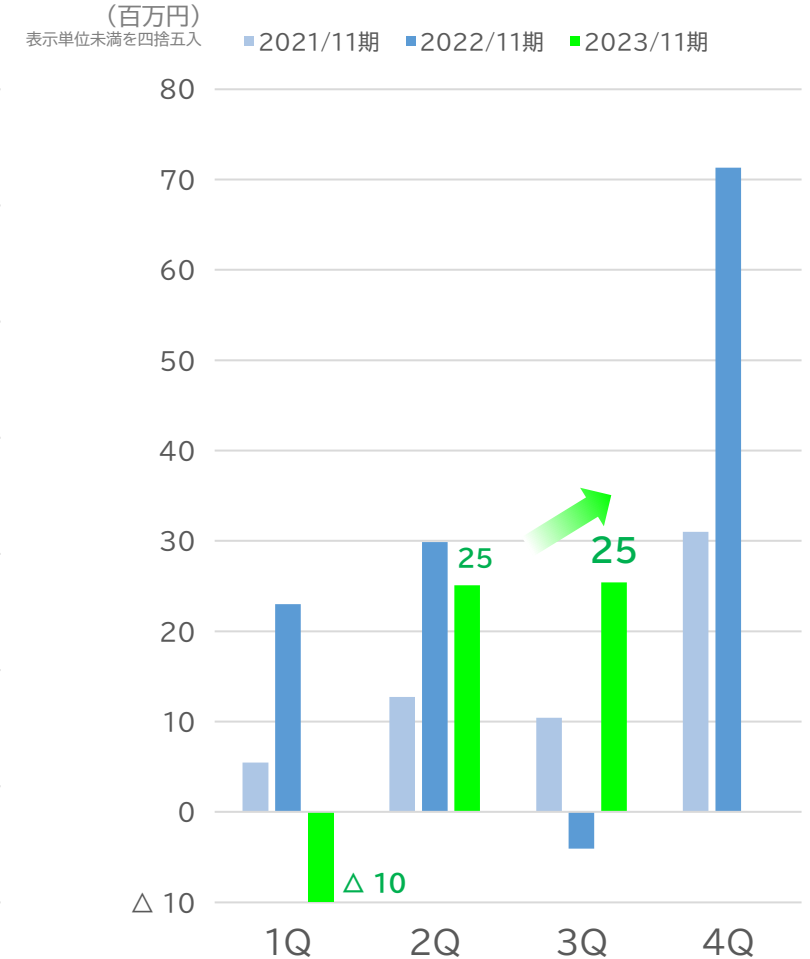
売上高



売上総利益



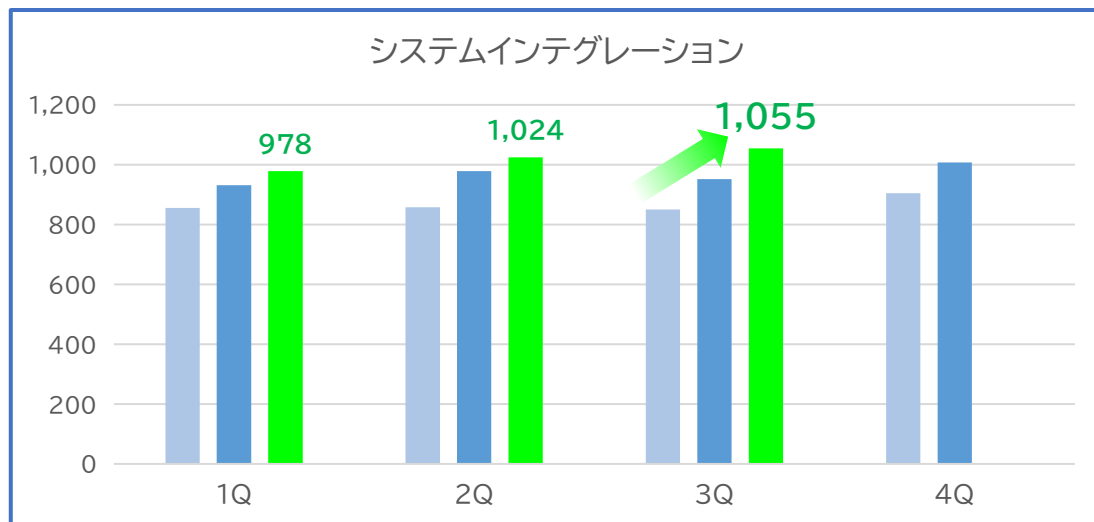
営業利益



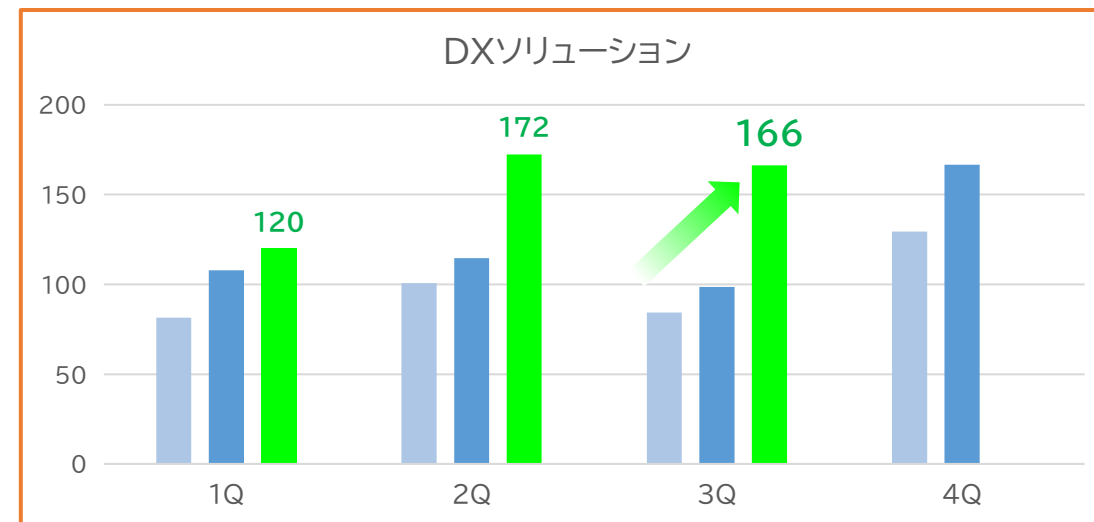
■ サービス別の四半期売上高推移は、以下のとおりです。

グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期



- 公共分野(中央省庁向け運用案件)、金融分野(クレジット、独立法人向け開発)、エネルギー分野(ガス、電力向け開発)における既存顧客からの受注が堅調に推移。
- GIGAスクール運営支援整備事業に関連する業務のサービス領域が拡大。
- 新規顧客開拓による受注案件の拡大とそれに伴う要員の確保、受注単価アップや高利益率案件等へのシフトに注力。

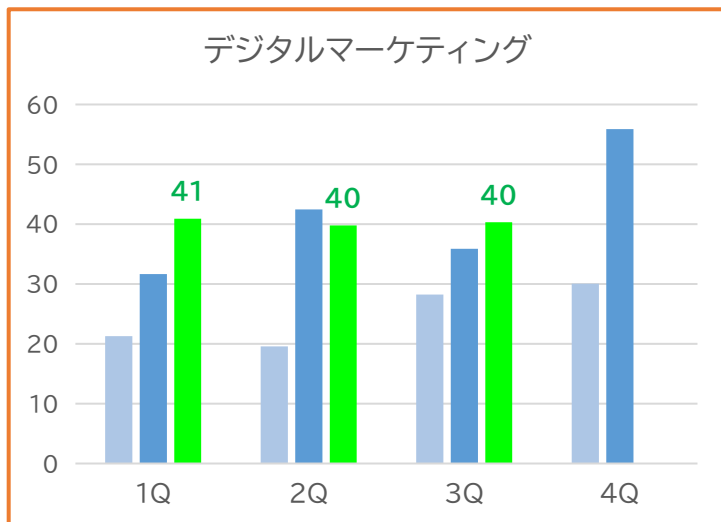


- 2月にグループ加入した株式会社ネットウインクスが手掛ける大規模修繕工事に伴う足場の仮設計画図などのCAD製図サービスが図面DXソリューションを牽引して売上拡大。

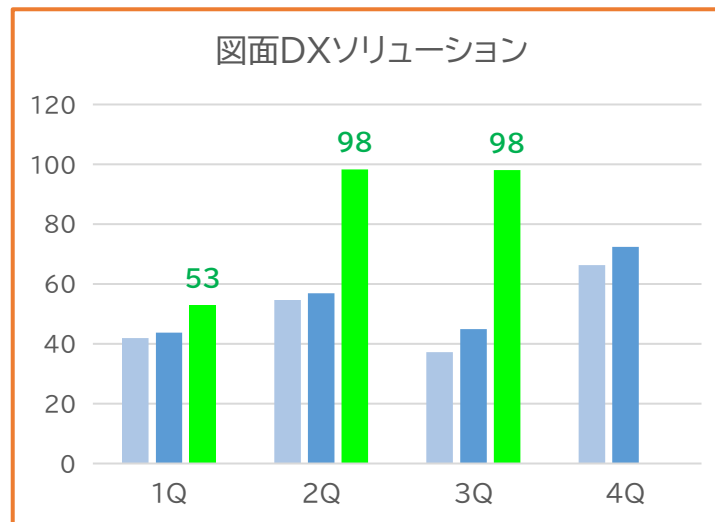
■ DXソリューションの四半期売上高推移は、以下のとおりです。

グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

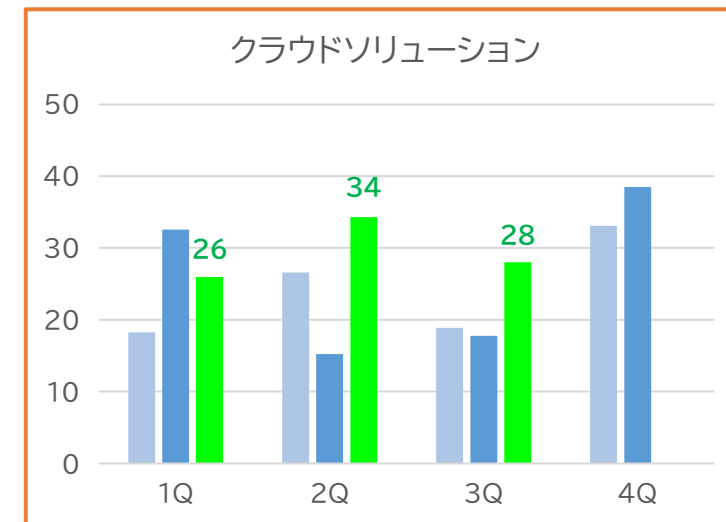
■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期



- 売上高前年同期比(3Q) +10.1%
- 展示会への出展やキャンペーン及び、OME提供パートナーによる販路拡大。
- Wisebookプライベートサーバー案件の受注が堅調に推移。
- 『Wisebook EdTech クラウド』のサービス開始。













- 売上高前年同期比(3Q) +71.2%
- ネットウインクス加入によるCAD製図サービスの売上増加が牽引。
- DynaCADシリーズの保守売上及びドローン関連サービスは前期並みに推移したものの、CAD製品の新規販売はやや低調に推移。



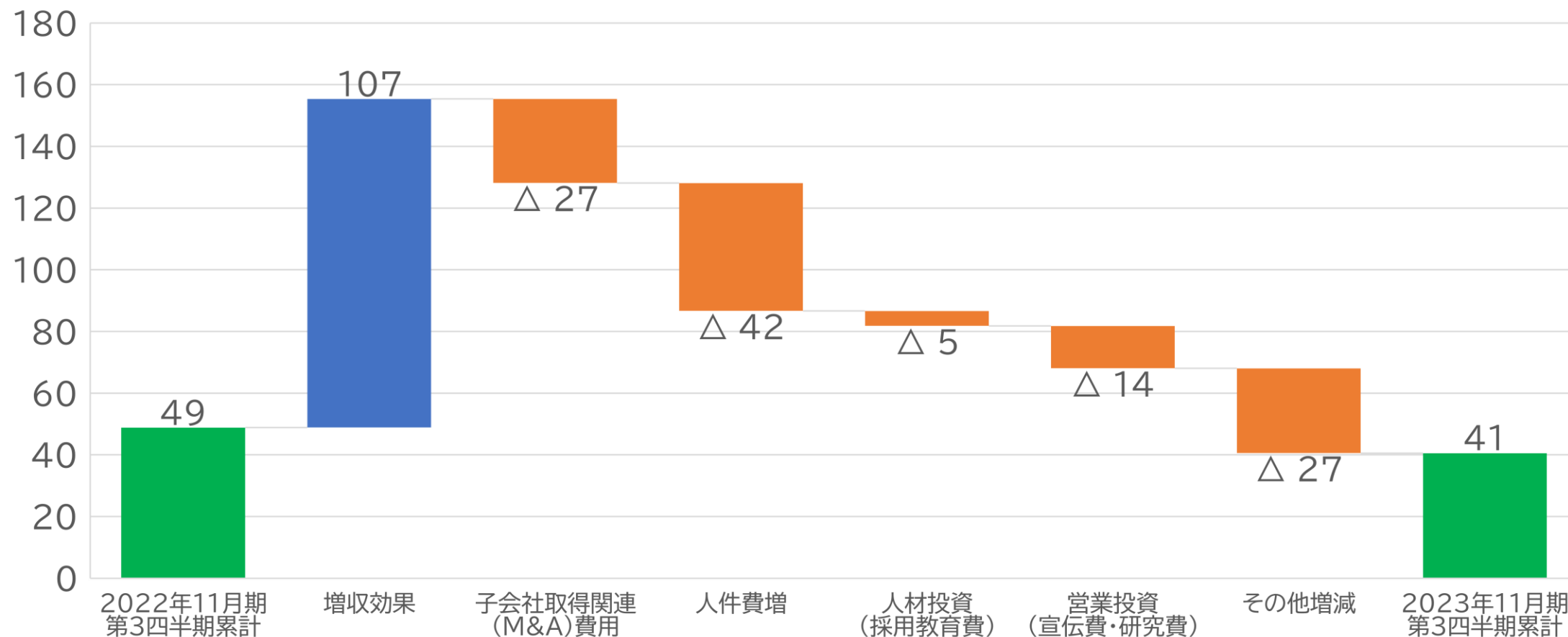
- 売上高前年同期比(3Q) +34.5%
- 中小規模事業者向けシステム開発案件、インボイス及び電子帳簿法対応の追加開発などの案件が増加。
- 認証ソリューション及びクラウドソリューション(TheMeal・自治体申請ナビ)の販売は減少。

- システムインテグレーション及び図面DXソリューションの売上拡大が牽引し、売上高・売上総利益が好調に推移。

	2022年11月期 第3Q累計	2023年11月期 第3Q累計	前年同期比		
	千円	千円	千円	増減率	
売上高	3,183,402	3,515,581	+332,178	+10.4%	
システムインテグレーション売上高	2,862,358	3,057,237	+194,879	+6.8%	
DXソリューション売上高	321,043	458,343	+137,299	+42.8%	
(内訳)デジタルマーケティング(Wisebook)	109,918	120,973	+11,054	+10.1%	
図面DXソリューション(CAD,ドローン)	145,517	249,144	+103,627	+71.2%	
クラウドソリューション(クラウド,認証)	65,607	88,224	+22,617	+34.5%	
売上総利益	675,833	782,415	+106,582	+15.8%	
販売費及び一般管理費	627,019	741,829	+114,810	+18.3%	
営業利益	48,814	40,586	△8,227	△16.9%	
経常利益	44,576	48,117	+3,540	+7.9%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,248	10,283	△11,965	△53.8%	

- 第1四半期に成約したM&A関連費用やのれん償却費の計上、営業人員の増強による人件費の増加及び広告宣伝等の販促費用の拡大等により増収効果を超える投資を実施。
- 第3四半期累計期間の営業利益は、前年同期比で一時的に減益となっております。

(百万円) 表示単位未満を四捨五入

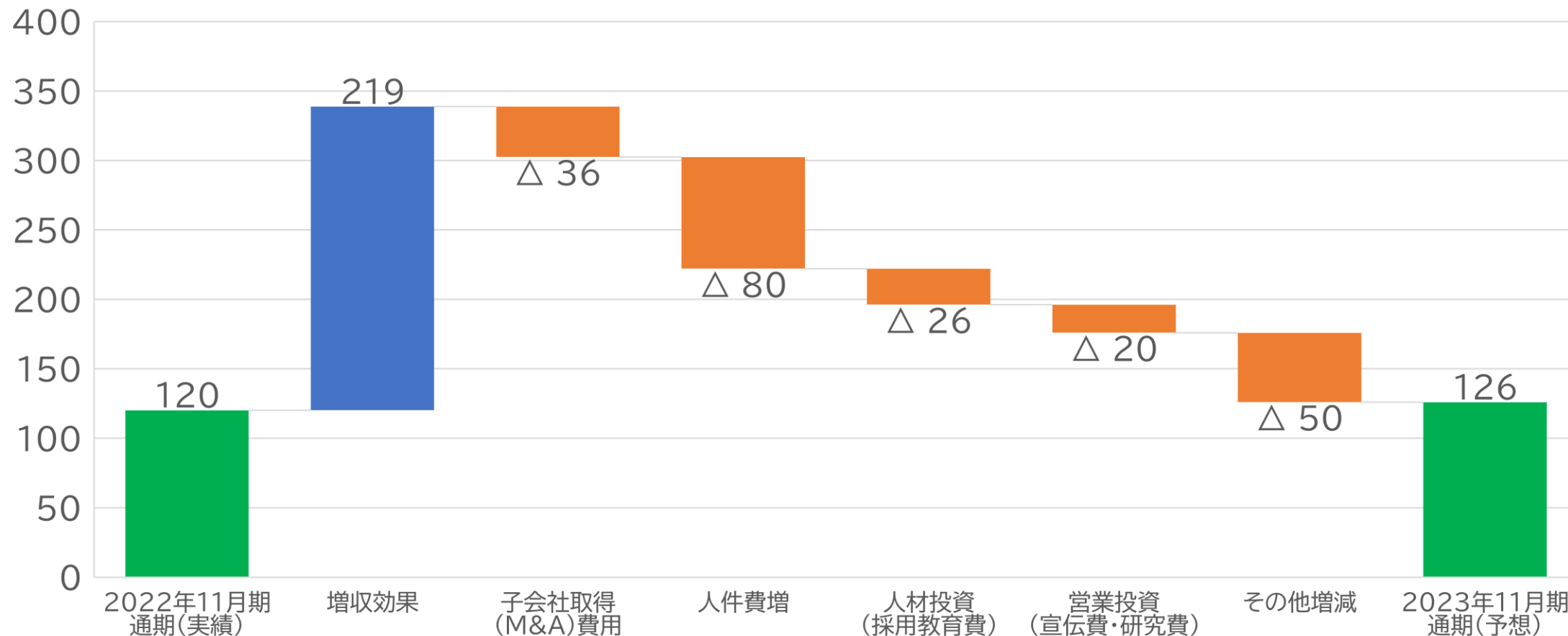


- システムインテグレーションは、堅調な受注環境の下、人材の確保と育成により8.7%の増収計画。
- DXソリューションは、自社製品ソリューション(Wisebook、DynaCAD)の拡大と(株)ネットウインクスのグループ加入による図面DXソリューションの事業拡大により27.6%の増収計画。

	2022年11月期 (実績)		2023年11月期 (業績予想)		増減額 百万円	増減率 %
	百万円	構成比(%)	百万円	構成比(%)		
売上高	4,357	-	4,850	-	492	+ 10.2
システムインテグレーション売上高	3,869	88.8	4,081	84.2	211	+ 8.7
DXソリューションサービス売上高	487	11.2	768	15.8	280	+ 27.6
(内訳)デジタルマーケティング(Wisebook)	165	3.8	220	4.5	54	+ 24.7
図面DXソリューション(CAD,ドローン)	217	5.0	415	8.6	197	+ 47.6
クラウドソリューション(クラウド,認証)	104	2.4	133	2.7	28	+ 21.7
売上総利益	962	22.1	1,180	24.3	218	+ 18.5
販売費及び一般管理費	841	19.3	1,054	21.7	212	+ 20.2
営業利益	120	2.8	126	2.6	5	+ 4.7
経常利益	120	2.8	115	2.4	△5	△ 4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	45	1.0	55	1.1	9	+ 17.4

- システムインテグレーションの堅調な伸びとDXソリューションの増益効果により、粗利は大幅増を見込む
- M&A費用の増加、人材投資・営業投資を積極的に実施するため、営業利益では微増を見込む

(百万円) 表示単位未満を四捨五入



第二部 Appendix

次世代デジタル教育ソリューション

『Wisebook EdTech クラウド』サービス開始

学校から企業の教育現場まで、幅広く学習者の『学習経験』をxAPI技術で取得、数値化、分析することができるプラットフォームシステム「Wisebook EdTech クラウド」をリリース。

- 従来のjpegタイプのデジタルブックより更に使いやすさを追求した学習用Viewerを搭載。
- 同Viewerは、カナダのPDFTron社とライセンス提携。
- 教育用のデジタルブックとして、国内で初めての商用提供。

Wisebook®EdTechクラウド

- デジタル教育プラットフォームシステム
- 新しい学習スタイルの提案

- ・受講者の学習経験をデジタルデータとして取得
- ・より良い学習環境、講師間、受講者間、相互連携
- ・効率良く学習するための教材開発支援を実現
- ・学校から企業まで、教育現場の業務を支援、課題を解決
- ・2次元から3次元の教育環境を提供(Wisebook-3D)

パフォーマンス、ゴール、学習体験、グローバル、知識、成果

Wisebook® EdTechクラウド

教育に必要なあらゆる情報を蓄積・相互利用・有効活用

教材 講師 受講者

2025年、Wisebook EdTech-3D リリースを目指す

VR、AR技術を活用した仮想現実の学習システム環境を提供

Wisebook EdTech の機能拡張

1. コンテンツ販売EC機能拡張

学習経験の取得・活用に加え、教材の販売プラットフォームとしてシステムを拡張し、教材の販売提供から学習管理までトータル管理が可能です。

2. 生成・対話型AIを活用する学習(研究開発中)

生徒が一人で勉強する際、Chatbotを活用した対話型学習エージェント機能の拡張も検討しています。

3. AR・VRの仮想現実との組み合わせで学習効果を最大限に(研究開発中)

5Gの台頭により通信速度が速まる中、AR、VRの仮想現実を体感できる学習コンテンツが利用できる研究開発を進めています。

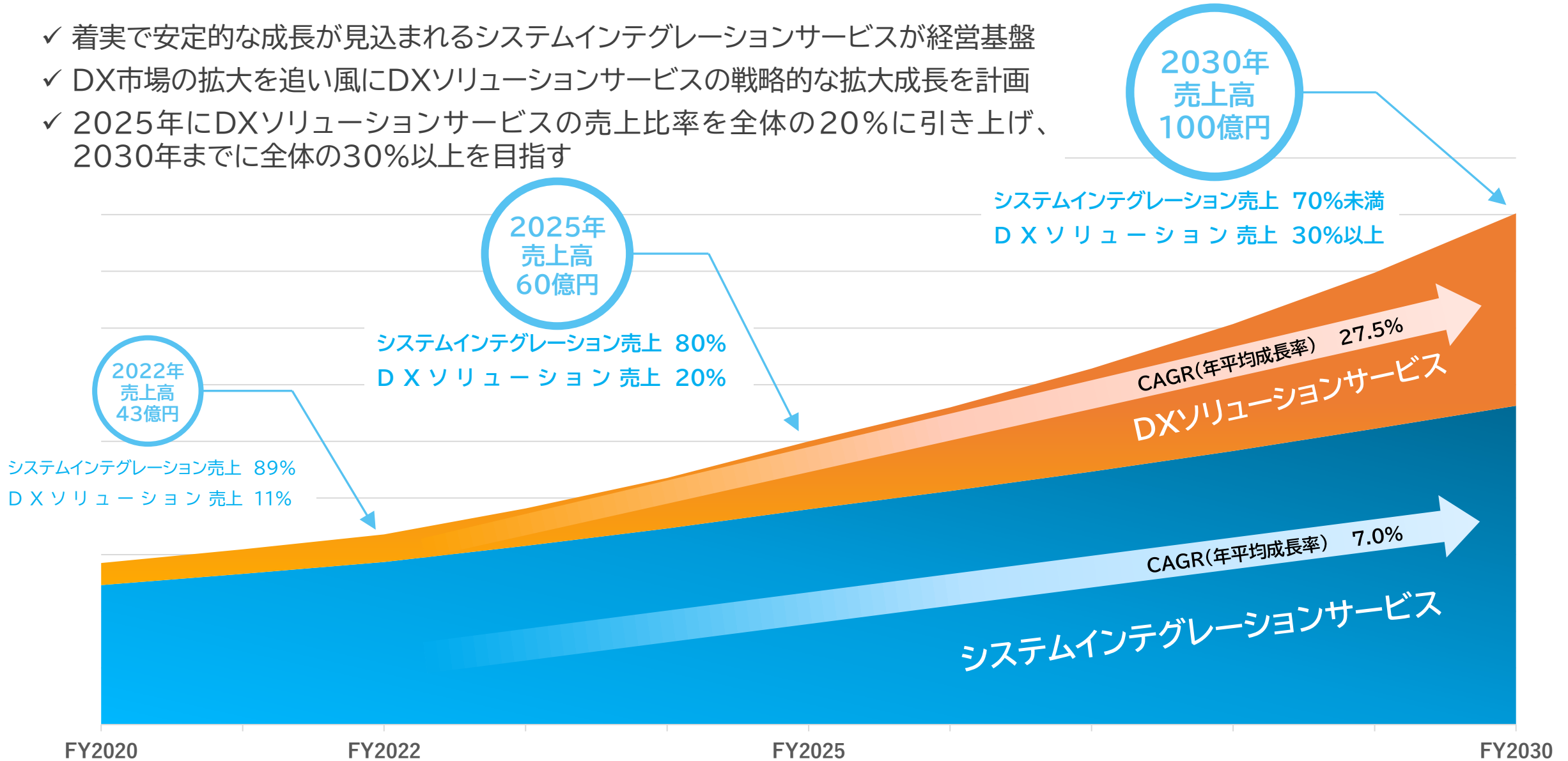


会社名	MITホールディングス株式会社
設立年月	2009年12月
創立年月	1990年1月（システムイオ設立）
本店所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
決算期	11月
従業員数	単体:18名、連結:409名（2023年9月現在）
上場市場	東証スタンダード
資本金	2億9,145万円（2023年5月現在）
発行済株式数	2,109,400株（2023年5月現在）
役員構成	代表取締役社長 増田 典久
	代表取締役会長 鈴木 浩
	常務取締役 中森 将雄（株式会社NetValue代表取締役）
	常務取締役 三方 英治（財務担当取締役）
	取締役 野山 真二（株式会社システムイオ代表取締役）
	社外取締役 池津 学
	常勤監査役 沼倉 巧和
	社外監査役 東園 直樹
	社外監査役 山西 啓司

会社名	設立年月	代表者	従業員数 (2023年9月)	拠点	主要サービス
株式会社システムイオ 	1990年1月	代表取締役社長 野山 真二	179名	千葉本社(千葉市) 東京本社(港区)	システムインテグレーション
株式会社NetValue 	2004年6月	代表取締役社長 中森 将雄	122名	大阪本社(大阪市) 福岡営業所、川崎営業所	システムインテグレーション
株式会社ビーガル 	2007年9月	代表取締役社長 岩永 裕寿	33名	千葉本社(千葉市) 東京支社、大阪支社、他	DXソリューション
株式会社イーピーエス 	2005年1月 (2022年1月加入)	代表取締役社長 後藤 幹太	36名	東京本社(千代田区)	システムインテグレーション
株式会社ネットウィンクス 	1993年11月 (2023年2月加入)	代表取締役社長 青柳 文彦	11名	千葉本社(千葉市)	DXソリューション
Vision Links Myanmar (非連結) 	2015年9月	代表取締役社長 桑原 智成	10名	本社(ヤンゴン)	システムインテグレーション

中期経営計画の基本戦略（売上計画）

- ✓ 着実に安定的な成長が見込まれるシステムインテグレーションサービスが経営基盤
- ✓ DX市場の拡大を追い風にDXソリューションサービスの戦略的な拡大成長を計画
- ✓ 2025年にDXソリューションサービスの売上比率を全体の20%に引き上げ、2030年までに全体の30%以上を目指す



\\ もっとITを //

MiTホールディングス

<本資料に関する注意事項>

本資料は、当社の業績及び今後の見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

<お問合せ先>

MITホールディングス株式会社
経営企画センター

TEL 043-239-7252

E-Mail ir@mit-hd.co.jp